

「司法試験安定合格直前駆け込みゼミ」ガイダンス

弁護士 塩見 恭平

第1 自己紹介

大阪市立大学（夜間）→大阪大学法科大学院（既習）

適性試験（日弁連）全国3位

平成23年 新司法試験論文式不合格

平成24年 司法試験 合格

平成23年～	「sioMinn（しおみん）の戯言」 http://siominn19851225.blogspot.jp/ 執筆
平成24年11月	辰巳法律研究所にて合格者講義 「答案の「ハコ思考」～10回中9回合格～」を担当
平成25年	修習中に、京都産業大学・大阪大学・立教大学にて、「ハコ思考ゼミ」開催
平成26年～	辰巳法律研究所にて「ハコ思考」ゼミ開講（3期累計合格者数10名以上） 京都産業大学にて民事系法職ゼミ開講（法科大学院生・大学生対象）
平成26年3月～	電子書籍「独占禁止法のハコ」「当たり前六法」 「司法試験合格シミュレーション1」出版
平成26年8月	講義「答案のハコ思考～安定合格の技術～」担当
平成27年6月	講義「当たり前司法試験」担当
その他もろもろ	

司法試験を戦略的にクリア！！

第2 方法論の重要性

1. 「ハコ思考」講義の目的

量をこなすことができない人、文章表現に迷っている**普通の人のための思考法**を伝える

→ 普通の人**が**普通の勉強時間で普通に合格するための方法論

1500人時代でも通用するのか？

→ 結局、求められているものは**変わらない**。

基礎体力をつけること、背骨をまっすぐ**に**することは必須

2. 方法論の重要性

勉強量 * 質 = 実力

質を上げるのは方法論

正解は唯一ではないのである程度信じられる方法論を信じ、取り組んでいくことも重要

3. 評価される答案を書くために

知識 * 分析 * 表現 * 体調
= 答案のデキ (≡ 実力)

- ・ **知識**が重要であることは皆わかっている

→どのレベルか？

①「超！最低限」レベルと②「知っておくべき」レベル

- ・ 問題文を**分析**し、「問いに答える」

→求められる分析とは？

- ・ 一読了解の文章**表現**を練りつくす

→求められる表現とは？

- ・ **体調**を整えて試験会場で実力を発揮する

→意外と軽視しがち，メンタルケア！

<合格するために必要な能力>

知識…択一安定合格

分析…訴訟ベースでの思考

表現…三段論法・原則例外の徹底

体調…心身の健康

第3 「ハコ」思考とは

1. 総論

- ・ ハコ思考とは
処理手順，思考過程の定型化

知識・分析・表現（・体調）それぞれのハコが存在する

2. 知識のハコ

(1) 「基本」知識という畧

司法試験合格者が当然知っている常識的事項＝「基本」

→ 枠組みも含めた知識のハコ

- ・ 論証との違い
→ ハコ思考という言葉は，論証より広い意味合いで使用している

(2) 「基本」とは，要は何か？

ア 抑えるべき「基本」とは？

- ・ 陥りがちなミス
→ 趣旨・実感で言及されている全ての知識が必要なわけではない！
(ex. 「〇〇について言及している答えは少なかった」)

司法試験は相対試験。下位30%に絶対に入らないためには，中位合格答案レベルの答案でも正確に書いてくる部分を抑えるべき

- ・ 趣旨実感に「ここが必要」と書かれている

実際に中位合格答案でも書かれているポイントを押さえる

イ 「基本」知識の濃淡

「基本」の中にも、「知っておくべき」知識と、「超！最低限！」知識の2種類がある

(ア)「知っておくべき」知識

趣旨規範本で検討している条文（論点知識のみではなく遡る必要）

百選掲載判例

しかし、上記知識を知らなくても（うろ覚えでも）、合格に達する可能性
＜知っておいたほうが合格に有利なことは間違いない＞

→暗記し吐き出せることが合格に近づくポイントでもある

(イ)「超！最低限！」知識

条文の立てつけの理解

リーガルマインドの醸成

書籍の大目次

3. 分析のハコ

・試験時間は有限

有効利用のためには「分析」にこだわる必要あり

・分析手順の定型化

結果として「思考が必要な部分」につきじっくり考えることが可能

(1) 問題文の読み方

ア 瑕疵・数字・法律行為

問題となる可能性が高い部分を無条件でマーカーすることにより、分析時間を短縮・効率化

イ 要件効果思考

問題とならない要件も端的に当てはめる

要件をすべて満たしてこそその効果発生

ウ 比較の視点

2つ事実が出れば比較して論じろ，という裏命題があると考えろべき

(2) 答案構成

- ・ 見切り発車する位なら答案の分量を減らす
- ・ 結論を構成用紙に明示
- ・ 書くかどうか迷った時の基準の確立
- ・ 設問で問われている部分は全て検討する
 - 「問いにこたえる」意識，論点志向ではなく争点思考
- ・ 論理を丁寧に
 - A B C Dで，Dがメイン論点である場合
前提を省略するのではなく a b c d と薄くてもすべて書く
- ・ 不利益な事実から目をそらさない
 - 争点を説得的に解決するために，不利益な事実を書かずに逃げるのではなくある程度の批判に対応できる理論武装が必要

(3) 判断要素の抽出→事前準備できるところを準備する

準備できるのは論証パターン・暗記事項のみではない！

(ex. 起訴状，公訴事実の記載)

4. 表現のハコ

(1) 表現のハコを考える必要性

「表現」が適切でなければ，いかに知識・分析を磨いても**無意味！**

100の知識・分析を50の表現で伝えるよりも、
80の知識・分析を80の表現で伝えるほうが高得点？

1. 一定の考え方・表現のアプローチを徹底することで漏れがなくなる
2. 採点官にとって読みやすい文章 → 法律家の共通言語
3. 共通言語の理解の適示 → 法律家ムラ入村の資格をアピール

・表現のハコ総論としての①三段論法と②原則例外型思考

(2) 三段論法

規範→あてはめ→結論。これをいかに正確にするか。

単に

1. 問題提起
2. 規範定立
3. あてはめ
4. 結論

とするだけではなく、

1. (条文文言や請求権を明示した) 問題提起
2. 理由 (必要なら解釈) 付きの規範定立
3. (規範に文言を対応させ、評価を付けた) あてはめ
4. (問題提起に答える形での) 結論

というところまで意識する必要がある。

ア 問題提起の役割

イ 規範なきあてはめには意味がない

ウ 規範には趣旨を，あてはめには評価を

エ 具体→抽象→具体→結論。

抽象論のフィルターを通して法的論理をつなげる

- ・分からない問題こそ，守り・逃げの意味での法的三段論法

(3) 原則例外型思考

ア 「解釈」とは

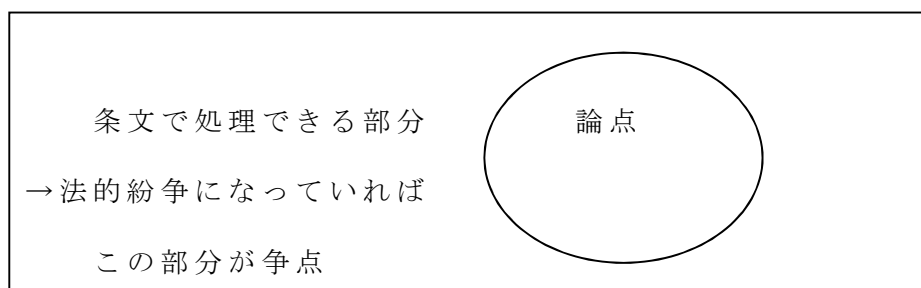
- ・ 解釈とは**例外事例**について考えること
- ・ 立法府の能力を信じるところから

イ 論点と争点

- * 争点 当該請求が認められるか，(民事なら)効果が発生させるために必要な要件がすべてそろっているか
- * 論点 要件の解釈が問題となる部分

<争点>

法的争点 — 条文 = 論点



→ 原則（条文）で処理した場合に不都合が出るからこそその例外

- ・ 文言解釈が問題になる以上，そこに何らかの悩みがある

- ・まずは原則の認定をする

5. 体調のハコ

(1) ハコ思考の汎用性

処理手順の定型化という発想はあらゆる面で役立つ

予定管理・メンタルコントロールという実例

(2) 予定管理のハコ

ア 4分割勉強法

リハビリ・年末まで・模試まで・直前期

イ 予定作成の手順

- ・具体的手順

①タスクの明示

→可能な限り多く

②可処分時間の算出

→自分を過信しない

③使用時間の算出

→案外時間がかかる

④割り当て1

→外せない予定

⑤割り当て2

→やりたい予定

- ・逆算の重要性
- ・遊びの重要性

(3) メンタルコントロールのハコ

ア 計画的な「手抜き」

- ・量より質

 - 自分の限界を知る・体調を崩して長期離脱するリスク

- ・精神論の使い方

 - 100日作戦<講師の例>

イ 2人の自分

 - ポジティブな自分とネガティブな自分

 - 精神安定と計画遂行のバランス

6. ハコ思考のメリット・デメリット

メリット	→	適切なハコを作れば漏れがなくなる 知識・分析・表現の切り口を持つこ とで事案と向き合うことができる
デメリット	→	下手に使えば思考の硬直化 論証とはしっかり区別する必要

* 司法試験は事実が所与のものなので、適切なハコを作成しておけば安定して「一応の水準」を維持できる答案を作成することが可能

第4 安定合格のためのハコ思考

1. 合格するために必要な能力→ハコ思考でできること

知識…択一安定合格	→ 使える知識の取得方法を伝授
分析…訴訟ベースでの思考	→ 分析のハコ思考（総論・各論）
表現…三段論法・原則例外の徹底	→ 表現のハコ思考（総論・各論）
体調…心身の健康	→ 凡人だから答えられることもある

2. 司法試験安定合格直前駆け込みゼミの特色

（1）ゼミの流れ

- ①各科目最初の30分～45分で各科目のコツ・ハコ概要をお伝え
- ②過去問・模試問につき、レジュメを用い解説
- ③検討答案を見ながら、ハコを用いて具体的に解くとどうなるかを解説

（2）獲得目標

- ①知識の取得方法をつかむ
 - ②分析手法の定形化
 - ③表現手法の定形化
 - ④直前のリズムを整える
- ①～④を「なんとなく」行うことができるようになることで、司法試験合格に近づくこと
- ・上位を目指すというよりも、確実に合格したい人向けです。答案の背骨を通すことが目標です。

背骨を通すことにより、自習効率も上昇！

「できる限りの努力を，最高の質で！」

「普通の人が，普通の勉強時間で，普通に合格するための方法論」

ハコ思考を合格のためのツールにしましょう！！

質問等は

・ 講師ブログ

「sioMinn（しおみん）の戯言」 <http://siominn19851225.blogspot.jp/>

・ 講師 twitter

@sioMinn

まで！

* 初回講義は平成29年3月14日（火）18時30分～

憲法→平成28年 行政→平成26年過去問を使用いたします。

ホワイトデーに公法の実力を上げましょう！

* 詳しくは受験相談してください。